

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 1 4 回相模原市観光振興審議会				
事務局 (担当課)		環境経済局経済部商業観光課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 3 6 (直通)				
開催日時		令和 2 年 2 月 6 日 (木) 午後 3 時 0 0 分 ~ 4 時 3 0 分				
開催場所		相模原市役所本館 2 階 第 1 特別会議室				
出席者	委員	7 人				
	その他	-				
	事務局	9 人				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 パブリックコメントの実施結果について 3 報告 ・台風第 1 9 号の被害状況について ・オリンピック開催による観光行事への影響について ・組織改編について 4 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 議題（○は委員、 は事務局の発言）

内藤会長が議長となり議事を進行した。

パブリックコメントの実施結果について

事務局から説明した後、質疑応答を行い、パブリックコメントに対する市の考え方について承認された。

主な意見等

パブリックコメントでいただいた意見に関連して、第3次観光振興計画について議論を行った。

○ パブリックコメントの中に、高尾山からの城山湖方面への登山道の整備といった意見が出ているが、高尾山から城山方面へは、どのようなルートを想定しているのか。

また、高尾山からの誘客を考えた時に、東海自然歩道を通って陣馬山までのルート等もある。中には台風の被害を受けているルートがある中で、こうした登山道についてどのように整備していくのか。

高尾山から城山湖方面のルートとしては、高尾山口から四辻を經由して、草戸山を通り城山湖に向かうルートが考えられる。

高尾山からの誘客については、高尾山から相模湖・藤野方面にインバウンドを誘客するための英語を併記したハイキングマップの作成等を行っているが、登山道について一定のハード整備等も必要と感じている。登山道については、都県境、市境にあるものもあり、これらを所管する各機関との連携体制を構築し、整備を進めていければと考えている。

台風第19号の復旧対応のため、国・県との連携が増えてきた。当面は観光よりも、別の面での復興が優先されるかもしれないが、引き続き連携していきたい。

○ 高尾山から相模湖への誘客は地域が何年も前からやってきたが、高尾山から相模湖へのルートは道が険しく装備がないとなかなか厳しいといった課題もある。

○ 実際に高尾山から相模湖方面へのルートを歩いたことがあるが、相模湖方面に降りてから相模湖駅に着くまでのルートがコンクリートで辛かった記憶がある。

○ 丹波山村のやまびこ橋を視察にいったことがある。橋にセンサーがついており、センサーが反応すると童謡が流れる仕組みになっている。こういったものを地域に導入して名所にできないかと考えている。

地域として何を売っていくのかを考える必要がある。魅力があれば自然に人は高尾山から流れてくるはずである。

計画を推進していく中で、具体的な取組を検討していきたい。

優先順位を決めることは重要である。

パブリックコメントの意見にもあるように、車両基地は観光の目玉になると考える。車両基地の観光に関する整備については、どこの部署が鉄道事業者に働きかけをしていくのか。

働きかけについては、都市建設局を中心に庁内横断的に連携して行っていくものと考えている。

現段階では、車両基地の実際の運用方法（常にリニア車両が見学可能なのか等）等が不明ではあるが、活用の視点をもって関係機関等と協議していきたい。

甲府市では、2027年のリニア中央新幹線開通に向けて、自動運転システムなど最先端技術のバスの導入に向けた具体的な検討をしていると聞いている。リニア車両基地周辺で、こうした自動運転システムのバス等の活用も考えられると思う。

- 橋本から宮ヶ瀬への動線が重要で、どう周遊させるかを考える必要がある。そのためにも人材が必要になってくる。緑区には5つの観光協会が存在しているが、全体的なビジョンをもって、市と（一社）相模原市観光協会がイニシアチブをとっていくべきと考える。

市としても（一社）相模原市観光協会との連携を密にしたいと考えている。また、観光協会同士の連携を推進していきたい。

- インフラ等のハード整備には時間がかかるため、既にあるものをいかに活用していくかを考えるのが重要である。例えば、JAXAに関連して「はやぶさ2」については、小惑星探査に係る国民の関心も高いので、積極的に活用すべきと考える。
- 「たびまえ」、「たびなか」、「たびあと」という言葉は新鮮である。事業戦略図がとてもわかりやすいので、この図のとおりに進めていっていただきたい。

3 報告

- ・台風第19号の被害状況について

観光関連施設等の主な被害状況と災害復旧の取組みを報告。

- ・オリンピック開催による観光行事への影響について

2月6日時点で開催の可否が決定しているものについて報告

- ・組織改編について

様々な行政需要や課題に対応するために、令和2年4月1日から組織改編を予定していることを報告。

局相当の「市長公室」を設置し、その中で観光を所管する課が新たに設置される旨を説明した。

以上

相模原市観光振興審議会委員出欠席名簿

区 分	氏 名	所属団体等		備考	出欠席
		名称	役職等		
学識経験者 ・ 専門家	内藤 錦樹	桜美林大学	名誉教授	会長	出席
		観光振興アドバイザー			
公募委員	高橋 陽子	公募委員			出席
関連団体	北村 美仁	(一社)相模原市観光協会	専務理事	副会長	欠席
	大貫 幸雄	大島観光協会	会長		出席
	佐藤 泉	相模湖観光協会	会長		出席
	関戸 昌邦	津久井商工会	会長		欠席
民間事業者	井上 康	(株)JTB相模原支店	支店長		出席
	高堂 智佳	東日本旅客鉄道(株) 橋本駅	駅長		出席
	福重 隆一	相模湖リゾート(株) (富士急行(株))	専務取締役		出席